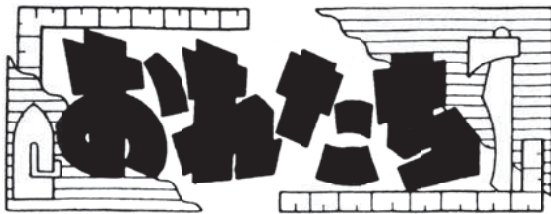


来月の無料法律相談は

1月18日(金)14時~16時

希望者は前日までに予約を

1月初組員数=2,005人(-32人)



発行所

東京土建一般労働組合荒川支部

東京都荒川区荒川6-3-1

TEL(3892)9131 FAX(3892)9381

発行者・豊田佳二/編集長・石川哲夫

http://www.doken-arakawa.org/

明日の平和を信じて

竹達家曾祖母から伝わる歴史

家族14人で平和に感謝

「時代と共に正月の過ごし方が変わってきていますが、竹達家の正月は、どのような正月ですか？」

私の家族は毎年新年を祝って、正月の二日に私の家に、皆それぞれの思いをも

って集まってきました。私達親は子供、孫、ひ孫の健やかな顔を見るため、子供達は年に一度兄弟で新年の杯を交わすために、孫はテール狭しと並ぶ御馳走とお

年玉、ひ孫は大勢の中で主に、皆それぞれの思いをも

役になるためにと、楽しい目的のもと集まります。私もこの日を楽しみにしています。それは家族の平安を自分の眼で確かめ、世の平和に心から感謝することが出来る日であるからです。

私には平和をこよなく愛し、平和に責任を感じています。平和と言ふことについて強い思いを感じますが、竹達家の平和については？

その思いの根拠は、私の親族の歴史にあります。曾祖母(ひはば)は元治元年(1864)生まれで、この年は新撰組が尊皇攘夷志士を襲った池田屋事件があった年です。曾祖母は私が21歳の時に92歳で他界しましたが、曾祖母の人生すべてが日本の戦乱の時であった、といっても過言ではありませぬ。それは戊辰戦争から始まって、台湾出兵、日清戦争、日露戦争、第一次世界大戦と続いて満州事変、日中戦争から太平洋戦争に、そして終戦を迎えるまで、国内戦を含めて実に77年にも及ぶ戦役でした。

ではお父さんも戦争に行かれた訳ですね？

私の父が終戦の間際に、フィリピンでの戦死の報を聞いた曾祖母は、大声で泣きながら「石太郎、己(な)ら(お前)なして(な



わんぱくざかりの海翔(かいと)君

せ)このちゃっこい(小さなわらい(子供)を5人も残して死んだんだ」と叫んでいました。これは、日本中ではどこでもあった話です。否、戦場となった国では、どこでもあったことです。曾母が81歳の時でした。

私から前の四代は戦乱の歴史を歩み、その根拠には明治憲法があります。私から後の四代は、過去の犯した戦争の懺悔から生まれた、戦争を放棄した日本国憲法によって、平和を守られています。先の戦争から終戦後68年を戦争や紛争によって、血も涙も流さずにこれたのはひとえにこの憲法の力です。今、この憲法を変えようとする動きがありますが、私は戦争被害者として、平和破壊につながる憲法改悪には断固反対します。 ※取材・日暮里一・川又好一記者



毎年家族そろって正月を過ごし、平和を実感しています



家族の笑顔が元気の素

正月、「二年の計は元日にあり」と言い、殊のほか日本人はお正月を大切にしている。正月の行事は地方によって異なるが、元日を中心とした大正月の他に、15日を中心とした小正月の行事が盛んな地方もある。 ▼元日と15日の中間、7日には「七草粥」の行事がある。七草粥を正月7日の朝に食べて、1年の無病息災を祈る行事を「七草」と言う。七草の草は、6日の夜に清浄な俵板の上で包丁ですりこぎで28回叩き、翌7日の朝に21回叩いて粥に入れて炊くのが古法と言われている。所変われば品変わると言うが、七草にも色々あって、「せり、なすな、ごぎょう、はこべら、ほとけのぎ、すずな、すずしろ、是ぞ七草」という歌は良く知られている。 ▼七草の種類は、時代・地方により若干の違いもあって、せりは伝統の天然健康食としての効能があると「和歌食物本草」(寛永7年刊行)の中に「芹こそは食をすすむるものなれや酒飲み鼻のふさがるによし」ともあり、また、七草は昔から食されてきていて、ピタミンや無機質等栄養学的にも理にかなっている。 ▼何時の時代も体をいたわり、健康を大切にすることに変わりはないが、先人の知恵の証として「七草」も後世まで伝えていきたい伝統習慣だ。(虎)



組合員の皆様には、新春をお健やかに迎えられたことと御慶び申し上げます。平素は、組合活動にご理解、御協力を賜り感謝致します。

本年もよろしくお祈りします 社会保障改悪・消費税増税反対

昨年11月には区長選、そして年末12月の総選挙では国民の審判が下り3年余り続いた民主党政権に終止符が打たれ、自民党政権が再誕生しました。低投票率から国民の政治不信・諦めが伺われます。

東日本大震災・原発事故等の被害者の皆様には心から御見舞い申し上げます。一日も早い復旧、復興をお祈り申し上げます。

活動重点としては、組織の確立強化(役員選出、分会・群会議開催)、賃金運動、3・13重税反対統一行動、命の綱の土建国保を攻撃から守り抜き、復興財源・社会保障財源を所得税・消費税増税での世論誘導を打ち破り、これまでの運動の成果に確信を持ち、社会保障の後退を許さず、土建国保を守る闘いを進めて、TPP参加にも反対します。



荒川の年の瀬の風物詩です
【南千住・竹達浩記者】12月23日(日)、荒川分会毎年恒例のもちつきが行われました。

組織拡大と強化は、要求実現の最短距離です。日常的に声を掛け、4月の支部大会までに安定した組織確立のため、奮闘をお願い致します。今年も宜しくお祈り致します。

会場は、支部主婦の会会長の鈴木さんの自宅前です。会場には分会のテントが張られ、外には臼と杵が準備され、もち米も蒸けあがり、あとはつくばかりと準備も整い万端の状態です。そして、加藤

れでもかと言っくらに入っていました。大変美味しく、なせか、平和の味がしました。今回の戦争や平和にまつわる話としては、小池書記が広島で行われた原水爆禁止世界大会に初参加していろいろと学んだこと、分科会で岩国基地の調査行動に参加した様子を映像と説明による報告をしていました。大変、説得力がある話でした。反核や平和について参加者からも意見が相次いで出され、平和の大切さを語り合えた、有意義なすいとんの夕べとなりました。参加者は総勢で40人でした。

おもちで笑顔になつて 荒川分会 もちつき



【日暮里一川又好一記者】太平洋戦争開戦(12月8日)に合わせて毎年恒例の支部主婦の会主催「すいとんの夕べ」が支部三階にて開催されました。

小池書記の原水禁報告 すいとんの夕べ

2013年
年男



明けておめでとうございませう！私は今年、思いました。そして、節目健診にあ

1月から3月まで荒川生協診療所が火曜日健診を延べ11日、1日につき10人に対応します。土建国保加入で保険証についている受診券が未使用の組合員や家族は年度内に必ず、受診して下さい。また、国保組合提携の他の健診医療機関の利用も構いません。なお、健診受診者全員を対象にして、抽選で記念品の贈呈もありますので積極的な受診の機会にぜひ！

2012年度限定キャンペーン中
お祈り致します。
※キャンペーンの対象は2012年4月1日から2013年3月31日までに健診受診した方で、抽選で200名にプレゼントが当たります。ちなみに、1等は東京アイズニールソートベアチケットで20組となっていて、以下はお米券や図書券となっています。また、健診を受けていない人はこの機会にぜひ！



あなたのからだ守り隊 ですよ！

完全勝訴求め控訴に 首都圏建設アスベスト訴訟



集会の熱気とともにたたかいはまだ続く!

【荒川・間所秀夫通信】12月5日、首都圏建設労働者アスベスト訴訟の東京地裁判決が4年半もかかり、その日を迎えた。午後2時に集合し、16枚の傍聴券を得るのに330人も並んだのは壮観でした。やがて、3時過ぎに「勝訴!勝訴!」の知らせを受けて大

歩前進しましたが、完全勝訴を勝ち取るまではまだ戦いは終わらないので、益々頑張らねば思いました。【労働対策部発】首都圏建設アスベスト訴訟原告団は12月18日、一番の東京地裁判決を不服として、東京高裁に控訴しました。原告

団長は「一人親方、零細事業主が線引きの外に置かれ、何の補償の対象にもならなかったことが納得できない。さらに被害の元凶である製造企業が責任を負わないのは許せない。原告全員が一枚岩になってたたかう」と話していました。

【南千住・竹達浩記者】昨年、11月25日に東京土建PALの会の「PAL住宅部会設立協議」が、中野支部で開催されました。会議の中で、NPO法人建設政策研究所の越智今日子氏による講演がありました。

【南千住・竹達浩記者】度比26%増」となっており、不況のなかでも業績は伸びています。その要因には、労働者の工賃を極端に安く抑えていることが大きな比重を占めていると話していました。

た。関係者を含め迷惑をおかけしました。お詫ひしてお伝えいたします。《お好み焼き 丸一》住所・東尾久2-41-8 電話 33895-4685

さよなら原発・守ろう憲法

音楽と講演のついで

荒川区九条の会連絡会 発足一周年記念

日本と世界の平和な未来のために、日本国憲法を守るといふ一点で手をつなぎ、「改憲」のくわだてをはばむためにひとりひとりができる、あらゆる努力を今すぐ始めることを訴えます。多くの来場をお待ちしています。

2月23日(土)

開場 午後1時30分
開会 午後2時
場所 ムーブ町屋
3階ホール

※チケットについて
は、所属分会の役員、
また支部担当事務局ま
で問い合わせ下さい。



講演 渡辺 治

一橋大学名誉教授

音楽 制服向上委員会



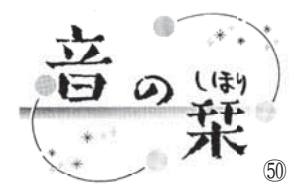
魅力ある賃金確保を

【南千住・竹達浩記者】度比26%増」となっており、不況のなかでも業績は伸びています。その要因には、労働者の工賃を極端に安く抑えていることが大きな比重を占めていると話していました。

【南千住・竹達浩記者】度比26%増」となっており、不況のなかでも業績は伸びています。その要因には、労働者の工賃を極端に安く抑えていることが大きな比重を占めていると話していました。

【南千住・竹達浩記者】度比26%増」となっており、不況のなかでも業績は伸びています。その要因には、労働者の工賃を極端に安く抑えていることが大きな比重を占めていると話していました。

【南千住・竹達浩記者】度比26%増」となっており、不況のなかでも業績は伸びています。その要因には、労働者の工賃を極端に安く抑えていることが大きな比重を占めていると話していました。



【南千住・竹達浩記者】度比26%増」となっており、不況のなかでも業績は伸びています。その要因には、労働者の工賃を極端に安く抑えていることが大きな比重を占めていると話していました。

【南千住・竹達浩記者】度比26%増」となっており、不況のなかでも業績は伸びています。その要因には、労働者の工賃を極端に安く抑えていることが大きな比重を占めていると話していました。

税金相談は組合で

【南千住・竹達浩記者】度比26%増」となっており、不況のなかでも業績は伸びています。その要因には、労働者の工賃を極端に安く抑えていることが大きな比重を占めていると話していました。

【南千住・竹達浩記者】度比26%増」となっており、不況のなかでも業績は伸びています。その要因には、労働者の工賃を極端に安く抑えていることが大きな比重を占めていると話していました。

【南千住・竹達浩記者】度比26%増」となっており、不況のなかでも業績は伸びています。その要因には、労働者の工賃を極端に安く抑えていることが大きな比重を占めていると話していました。

【南千住・竹達浩記者】度比26%増」となっており、不況のなかでも業績は伸びています。その要因には、労働者の工賃を極端に安く抑えていることが大きな比重を占めていると話していました。

申告準備学習会

日時 1月18日(金)

21日(月)

午後7時~9時

場所 組合事務所3階

売上・仕入の請求書や領

収書、経費の領収書に関係

する通帳・帳簿(所得計算

書など)と計算機、筆記用

具を持参のうえ、ご参加下

さい。

税金大学習会

日時 1月28日(月)

午後7時~

会場 サンプル荒川5階

講師 浦野広明税理士



ひとくち映画情報

『ライフ・オブ・パイ
トラと漂流した227日』
アン・リー監督



© 2012 Twentieth Century Fox

世界各国でベストセー
ーとなったカナダ人作家
ヤン・マテレルのサバイ
バル小説を映画化。
太平洋で漂流する少年
の軌跡を最先端のCG技
術を駆使し、壮大なスケ
ールで描いています。
インドでの動物園経営
が傾いたため、動物たち
と共にカナダへの移住を
決断したパテル一家。
しかし、カナダへ向か
う貨物船に乗り込んだ一
家を待ち受けていたの
は、船が沈没するという
悲劇でした。
一家の中でただ一人の
生存者となった次男、パイ
は、救命ボートでの漂流
を余儀なくされ、負傷し
た動物とともに過すこと
になる。さらに驚くべき
ことには、そのボート
に空腹のベンガルトラが
潜んでいたこと。果たし
て、パイはトラの襲撃を
かわし、生き抜くことが
できるのか。1月25日か
ら全国ロードショー。

浅野工芸

へら絞りに 一代一職を賭けて

マイスターに

浅野盛光さんは、「風光」と号し、東京都、荒川区の「マイスター」、経済産業大臣認定の伝統工芸士の資格を取得しています。高い技術とアイデアがあいまって良い製品が作られるという信念のもとに活躍中です。
文・写真 小川隆志通信員 川南千住分会



後ろに並んでいるのが「へら」

輝く金・銀製品に囲まれて、浅野工芸の浅野盛光さんにお話を伺いました。

へら絞りは、金・銀等材料をへらという手作りの特殊な工具を使って、根気良く何回もの工程を経て均一の厚さや

形の製品作っていく技術です。工具であるへらは100本以上もあります。出来上がった製品には、靨（あられ）打ちや立て打ち、杉目打ち、亀甲打ち、



まさに伝統職人芸

鉗目打ちの模様が彫られて完成となります。特に、靨打ちは縦と横の線の升目を作って内側から縦と横の重なったところに一個ずつ打つという、とても神経を使う至難の業です。

母の教え胸に 修行に耐える

浅野さんは3歳の時に父親を佐久間ダム建設の際に不慮の事故で失い、母親が女手ひとつで苦労し、育ててくれたそうです。その母親に「手に職を」と職人に



大変、力のいる「絞り」の作業

なることを勧められ、この道に入りました。冷暖房無しで着る物も無しのタコ部屋のようなところで、幸いにも修行に耐えられたのは母親の教えを全うしたいという一念から。話されていた「二代一職」という言葉もまさに、浅野さんの人生そのものをあらわした名言だと心にしみました。

浅野さんは、宮城県登米市津山町横山の出身です。津山町の隣町が東日本震災で多大な被害を受けた南三陸町です。そこのお寺が壊滅し、町民が葬儀もできず、大勢の人達が津山町のお寺に頼ってきたそうです。浅野さんはその対応のために多くの仏具を贈り、お寺

より感謝状を頂いたそうです。製作する製品は、仏具や茶器、酒器、トロフィーカップその他オリジナルと多岐にわたりますが、立派な製品を作るには、高い技術だけでなくアイデアも必要と強調していました。後継者が立派に育ち、浅野さんの素晴らしい技術が末永く引き継がれることを祈念し、工房を辞去しました。



上段の水差しとやかんが「靨打ち」です

シリーズ **ストリート** 14
荒川中央通り (荒川)



明治通りから京成線町屋駅前まで、全長718メートル。平日の朝夕には、区役所職員を中心に通勤の歩行者で賑わっている。
戦前は道幅も狭く、駅前には三菱電機の関連会社で日本建鉄があった。やがて、戦争に突入りして、日本建鉄は建築資材の鉄を扱っていたことから軍事工場となった。昭和16年に軍の命令によって、現在に至っている。通りの中ほどには、尾竹橋通りとつながり荒川西中央通りと交差し、生活道路の要となつて、素盞雄神社大祭の際には本社神輿を引く行列のコースにもなつて、住民と深いかわりを持っている。



奥は荒川西中央通り

訃報

- 岡野恵一さん 12年9月3日逝去 享年89歳(南千住・瓦工)
- 赤松利満さん 12年11月24日逝去 享年75歳(東尾久2・電工)
- 白井益子さん 12年11月7日逝去 享年67歳(西尾久・左官事務)

文・写真 並木義男記者 川荒川分会